

員を有し、特に東京を中心に、北海道、東北、九州、四國、近畿を始め他の各地には支部の設立並に支部準備會の設立を見るもの多く、明倫主義の普及は著しいものがある。然かも尙ほ本會の主旨目的貫徹の時期は遼遠である。吾人は一層協同一致益々結束を固くし、奮闘努力會勢の擴張に従ひ、不撓不屈の堅き信念を以て主義綱領の實現に向つて邁進せねばならぬ。

本會の組織及業務に就て

發會式に於て決定せられた新規約に基き本部に於ける常務幹事の業務分擔を左の通り總裁より指定された。

總務部 井上勝好 政務部 中頭新左衛門 統制部 安井義之助
 齋藤 瀧 芦澤敬策
 宣傳部 渡邊良三 工藤豪吉
 匠 瑳胤次 齋藤 瀧(兼)

新會員の獲得に就て 會員諸君におかれては可成多數同志を紹介せられ、入會勧誘に努力せられむことを希望す。即ち吾人の希望する所は會員諸君は最少限度十名以上の會員を可成勧誘せられんことにあり。従つて宣言主義綱領、規約並に其他の印刷物は御要求次第送附せんことを期す。尙ほ入會の諸君の住所、氏名、職業、地位、電話番號等は特に明記せられたし。

研究資料蒐集に就て 會員諸君より政治、財政、經濟、教育、外交、國防、思想、拓殖等各般に亘る意見の提出を切に希望す。而して本部は之を蒐集して研究の資料に供するの外、必要と認めれば機關誌「明倫」に掲載して本會關係者に配布し、又は汎く之を一般に配布することあるべし。

會の統制に就て 一、會員は相互聯絡を密にし各地の情勢により時々會合を行ひ意見を交換するものとす。

二、會合の情況及び重要な事項はなるべく速に本部に報告するものとす。三、會合に際し必要あれば本部より特に適當なる本部長を派遣することあるべし。

會員章の制定 會員相互の聯絡に便し、且つ會員たるの矜持を高むると同時に徳操堅持の手段たらしむる目的を以て今回明倫會員章を制定した。意匠は雑誌「倫明」の表紙赤刷模様を純銀の臺に七賢で現はした直徑二分五厘見當の氣の利いた小ザツペリしたものである。以て洋服の襟を飾る可く、羽織の紐に常任坐臥帶すべきである。希望の土は實費卅錢を前金で御送附ありたい、折返しお届けする。